

5 学年 算数科年間指導計画 (175時間 ①60 ②80 ③35)

* は「発展的な学習内容」を含む箇所

★は教育出版の Web サイトに「まなびリンク(デジタルコンテンツ)」がある箇所

月	単元・教材名	学習目標・学習活動	時数	評価規準	関連・系統
4 (10)	●算数をはじめよう！ ／算数で使いたい考え方	①②算数の学習の進め方を理解し、問題解決に生かすことができる。 ・「算数をはじめよう！」及び「算数で使いたい考え方」を見て、算数の学習の進め方について話し合う。	1	【知技】 問題解決の進め方を理解している。	
	2つに分けよう	・「2つに分けよう」の問題に取り組み、形も面積も同じ(合同)になるように2等分する分け方を見つける。	1	【思判表】 ・形も面積も同じ(合同)になるように2等分するしかたについて、筋道を立てて考えたり表現したりしている。 【態】 単元を通して評価する。 ・問いをもち、主体的に考えたり友だちの考えから学び合おうとしたりするとともに、解決の過程や結果を振り返り、よりよい方法を考えたり新たな問いを見いだそうとしたりしている。	
1	1 整数と小数【3】	①小数は整数と同じ十進位取り記数法によって表されていることを理解する。 ・「何km走るのかな？」の活動をきっかけに、北町子どもマラソンで走る道のりについて小数の加法の筆算のしかたを振り返る。また、その道のり 1.95 kmと東京オリンピックのマラソンコース 42.195kmの数字の並びに着目し、数のしくみに関心をもつ。 ・42.195 と 1.95 の数のしくみを調べることをとおして、どんな整数や小数も、0 から 9 までの 10 個の数字と小数点を使って表せることを知る。	2	【知・技】 ・整数、小数の十進数としてのしくみを理解している。 【思判表】 ・整数や小数の表し方のしくみに着目し、数の相対的な大きさを考察し、十進位取り記数法としてまとめ、数と式の表現や計算などに有効に生かしている。 (②まで同評価規準) 【態】 単元を通じて評価する。 ・直方体や立方体の体積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。	小1 ・大きな数 小2 ・100より大きい数 ・1000より大きい数 小3 ・10000より大きい数 小4 ・大きな数 ・がい数 ・がい数を使った計算 ・小数のしくみとたし算ひき算 中1 ・正の数、負の数

		<p>②10倍、100倍や、$1/10$、$1/100$などの大きさの数を作り、それらの関係を小数点の位置の移動に着目して理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0.195を何倍すると1.95になるかを考えることをとおして、整数や小数を10倍、$1/10$にするごとの小数点の移り方をまとめる。 		<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある数と、10倍、100倍、$1/10$、$1/100$などの大きさの数との関係について理解し、それらの数を小数点の位置を移して作ることができる。 	
	まとめ	<p>③学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <p>単元のまとめをする。</p> <p>[コンピュータは数で動く?] (p.278) ★</p>	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整数や小数の表し方のしくみに着目し、数の相対的な大きさを考察し、十進位取り記数法としてまとめ、数と式の表現や計算などに有効に生かしている。 	
4	<p>2 体積【12】</p> <p>直方体や立方体の体積</p> <p style="color: red;">※+1</p>	<p>①体積の意味、体積の単位「cm^3」を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「どちらが大きいか？」の活動をきっかけに、直方体と立方体の大きさを数で表すことに関心をもつ。 ・直方体と立方体の大きさを比べることをとおして、体積の比較・測定のしかたや意味について考える。 ・体積の単位「立方センチメートル(cm^3)」を知る。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位のいくつかによって体積を表せることや、体積の意味、体積の単位「cm^3」を理解している。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体積の意味について面積の場合などをもとにして考えるとともに、測定の考えを用い、図形を構成する要素に着目することで、直方体や立方体の体積の求め方を見いだしている。 (⑨まで同評価規準) <p style="color: red;">【観】 単元を通じて評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体積の単位と計算による求め方について、面積の場合と対比しながら粘り強く考えようとしている。 	<p>小1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くらべかた <p>小2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水のかさ <p>小4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面積 ・変わり方 <p>小6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・角柱と円柱の体積 ・いろいろな単位 <p>小6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比例と反比例 ・角柱と円柱の体積 <p>中1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空間図形
		<p>②直方体の体積を計算で求めるしかたを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直方体の体積を計算で求めるしかたを考える。(p.30~31の[友だちのノートを見てみよう]も扱う。) 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な部分の長さを用いることで、直方体の体積は計算によって求められることを理解している。 	

		③立方体の体積を計算で求めるしかた、及び直方体と立方体の体積の公式を理解する ・立方体の体積を計算で求めるしかたを考える。 ・直方体と立方体の体積を計算で求めるしかたを公式にまとめる。	1	【知・技】 ・直方体や立方体の体積を公式を用いて求めることができる。	
5 (15)	(大きな体積の単位)	④⑤体積の単位「 m^3 」を理解する。また、「 m^3 」と「 cm^3 」の関係を理解する。 ・大きなものの体積は、1辺が1mの立方体の体積を単位にして表すとよいことを知り、体積の単位「立方メートル(m^3)」を知る。 ・1 m^3 と1 cm^3 の関係を調べ、1 $m^3=1000000 cm^3$ を知る。 [1 m^3 を作ってみよう] ・ひもを使って1辺が1mの立方体を作ることをとおして、1 m^3 の大きさを体感する。	2	【知・技】 ・体積の単位「 m^3 」を知り、1 $m^3=1000000 cm^3$ の関係を理解している。	
	(容積)	⑥容積、内のりについて理解する。 ・直方体の形をした入れ物に入る水の体積を考えることをとおして、容積、内のりの意味を知る。 ⑦「L」と「 cm^3 」の関係を理解する。 ・1Lと1 cm^3 の関係を調べ、1L=1000 cm^3 を知る。 ⑧長さ、面積、体積の単位の関係をまとめ、理解を深める。 ・長さ、面積、体積の単位の関係をまとめる。 [石の体積を求めよう] ・石のような不定形の体積を、石を水槽に沈めたときに増えた水の体積に置きかえて求める。	3	【知・技】 ・容積、内のりの意味を理解している。 【知・技】 ・1L=1000 cm^3 の関係を理解している。また、1 $m^3=1000L$ 、1mL=1 cm^3 の関係を理解している。 【思判表】 ・体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察している。 (7)(8)同評価規準 【知・技】 ・長さや面積の単位と、体積の単位の関係を理解している。	
	(体積の公式を使って)	⑨複合図形の体積の求め方を考え説明し、体積の公式についての理解を深める。 ・直方体を組み合わせた形の体積の求め方を考え、図や式、言葉などを用いて説明する。	1	【思判表】 ・直方体を組み合わせた形の体積の求め方を、図や式、言葉などを用いて考えたり表現したりしている。 ・条件に合う直方体を、筋道を立てて考えている。	
	学んだことを使おう	⑩日常生活の場面と関連づけて、体積の学習を活用することができる。 ・「おかしを多くつまよう！」という目的意識から、直方体の形をした菓子を条件に合うようにいちばん多く詰められる箱を考え、その数を求める。 [友だちのノートを見てみよう] ・教科書のノート例や友だちのノートを見て、ノートの書き方の工夫について話し合う。	1	【思判表】 ・条件に合う直方体を、筋道を立てて考えている。	

<p>まとめ</p> <p style="text-align: right;">※+1</p>	<p>①学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめをする。 	2	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「体積」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。 	
<p>3 2つの量の変わり方【5】</p>	<p>①②伴って変わる2つの数量の関係について、表を用いて考察し、比例の意味を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「変わり方を調べよう！」の活動をきっかけに、一方の数量が変わるときのもう一方の数量の変わり方を調べることに関心をもつ。 ・ストローで正方形を横につなげた形を作るときの、正方形の個数とストローの本数の関係を表に表して調べる。 ・底面積が一定の直方体の、高さと同体積の関係を表に表し、変わり方を調べ、比例の意味を知る。 <hr/> <p>③2つの数量の関係を○、△を用いた式に表し、変わり方を調べることができる。</p> <p>[数直線と比例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗法の数直線は、一方の数量が2倍、3倍、…になると、もう一方の数量も2倍、3倍、…になる比例の関係を表していることを知る。 	3	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な場合について、比例の関係を理解している。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伴って変わる2つの数量の関係を表を用いて考察し、変化や対応の特徴を見いだしたり、式に表現したりしている。 <p>【態】 単元を通じて評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伴って変わる2つの数量の関係について、多面的に捉え検討して特徴を見いだそうとしている。 	<p>小1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなしきになるかな <p>小2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図をつかって考えよう <p>小3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・□を使った式と図 <p>小4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・式と計算 ・小数のしくみとたし算、ひき算 ・変わり方 <p>小6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字を使った式
<p>学んだことを使おう</p>	<p>④伴って変わる2つの数量の関係を表や図を用いて考察し、その関係を式に表して問題を解決することができる。</p> <p>($y=ax+b$の関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「もっと変わり方を調べよう！」という目的意識から、ストローで正方形を横につなげた形を作るときの、正方形の個数とストローの本数の関係を表や図、式に表して調べ、正方形を50個作るときに必要なストローの本数を求める。 	1	<p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つの数量の関係を表や図を用いて考察し、その関係を式と結びつけて考えている。 	

まとめ		<p>⑤学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめをする。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「2つの量の変わり方」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。 	
■ 2000 cm ³ を作ろう		<p>①体積の公式について理解を深め、体積についての感覚を豊かにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体積が2000 cm³の直方体について、2000を3つの数の積と捉え、縦、横、高さの3辺の長さの組み合わせを考える。 ・体積が2000 cm³の立体を、直方体以外でも考えて作る。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体積についての感覚をもち、2000 cm³の立体の大きさについて、およその見当をつけることができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2000を3つの数の積と捉え、縦、横、高さの3辺の長さの組み合わせを考えている。 	
◎ ふくしゅう①		<p>①体積の公式について理解を深め、体積についての感覚を豊かにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体積が2000 cm³の直方体について、2000を3つの数の積と捉え、縦、横、高さの3辺の長さの組み合わせを考える。 ・体積が2000 cm³の立体を、直方体以外でも考えて作る。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体積についての感覚をもち、2000 cm³の立体の大きさについて、およその見当をつけることができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2000を3つの数の積と捉え、縦、横、高さの3辺の長さの組み合わせを考えている。 	
4 小数のかけ算 【11】 ※+1		<p>①②整数×小数の意味と計算のしかたを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「代金を予想しよう！」の活動をきっかけに、場面図からリボンの長さや代金を予想し、リボンの長さが小数になる場合に関心をもつ。 ・1m80円のリボン2.3mの代金を求める場面で、乗数が小数でも乗法の式に表せる理由を考える。 ・80×2.3のような、整数×小数の乗法の計算のしかたを考える。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗数が小数である場合の乗法の意味や計算のしかたを、乗数が整数である場合の計算の考え方をもとにして、理解している。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小数をかけることの意味や、乗数が小数である場合の乗法の計算のしかたを、小数の意味や既習の計算などをもとに図や式などを用いて多面的に考えている。 <p>(⑥まで同評価規準)</p> <p>【態】 単元全体を通じて評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小数の乗法の計算のしかたについて、既 	<p>小4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小数と整数のかけ算、わり算 ・式と計算 <p>小6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分数のかけ算 ・分数のわり算 ・変わり方 <p>中1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正の数、負の数

				習の計算などをもとに粘り強く考えたり、数学的に表現・処理したことを振り返り多面的に検討してよりよい方法を見いだそうとしたりしている。
		③整数×純小数の計算のしかたを理解する。 ・ 80×0.6 のような、整数×純小数の乗法の計算のしかたを考える。 [算数のミカタ] ・新しい計算のしかたを考えると、小数を10倍するなどして、整数の計算とみる見方をしたことを振り返る。	1	【知・技】 ・乗数が1より小さい数の場合の乗法の意味や計算のしかたを理解している。
		④小数×小数の乗法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。 ・ 1.8×4.2 のような、小数×小数の乗法の計算のしかたを考える。 ・小数×小数の筆算のしかたを考える。		【知・技】 ・小数×小数の乗法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。
		⑤⑥被乗数や乗数が $1/100$ の位までの小数の乗法の計算のしかたを理解し、小数の乗法の筆算のしかたをまとめる。 ・ 8.93×2.6 のような、被乗数と乗数の一方が $1/100$ の位までの小数の乗法の計算のしかたを考える。 ・ 0.24×0.13 のような、被乗数と乗数の両方が $1/100$ の位までの小数の乗法の計算のしかたを考える。 ・小数の乗法の筆算のしかたをまとめる。 ・ 7.05×0.48 のような、積の末位が0になる場合の乗法の計算のしかたを考える。		【知・技】 ・被乗数が $1/100$ の位までの小数の乗法や、乗数が $1/100$ の位までの小数の乗法の筆算ができる。 ・乗数が小数である場合の乗法の筆算形式を統合的に理解している。
	(積の大きさ)	⑦乗数と積の大きさの関係を理解する。 ・1m200円のリボン1.4mと0.6mの代金を、1mの値段200円と比べることをとおして、乗数が1より小さいとき、積は被乗数より小さくなることを知る。	1	【知・技】 ・1より小さい小数をかけると積は被乗数よりも小さくなることを理解している。
	(面積や体積の公式)	⑧辺の長さが小数でも、面積や体積の公式が適用できることを理解する。 ・辺の長さが小数で表されている長方形の面積や直方体の体積の求め方を考え、小数の場合も面積や体積の公式を用いることができることを知る。	1	【知・技】 ・辺の長さが小数で表されている場合でも、面積や体積の公式を用いることができることを理解している。
	(計算のきまり)	⑨小数の場合でも、交換法則、結合法則、分配法則が成り立つことを理解する。 ・長方形を2つに分けた図の面積の求め方を比べることをとおして、小数の場合でも分配法則が成り立つことを説明する。 ・小数の場合でも、交換法則、結合法則、分配法則が成り立つことを知る。	1	【知・技】 ・交換法則、結合法則、分配法則が小数でも成り立つことを理解している。

	<p>まとめ</p> <p style="text-align: right;">※+1</p>	<p>⑩学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめをする。 	2	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「小数のかけ算」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。 	
	◎ ふくしゅう②	<ul style="list-style-type: none"> ・「整数と小数」「体積」の復習をする。 ・単元5「合同と三角形、四角形」に関わる既習事項を確認する。 	1		
6 (20)	5 合同と三角形、四角形【14】 合同な図形	<p>①合同の意味を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ぴったりはまる形はどれかな？」の活動をきっかけに、形も大きさも同じ三角形に関心をもつ。 ・形も大きさも同じ四角形について調べることをとおして、合同の意味を知る。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同の意味を理解している。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形を観察する観点として、図形間の関係に着目している。 <p style="text-align: center;">(①②同評価規準)</p> <p>【態】 単元全体を通じて評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の形や大きさが決まる要素について、筋道を立てて考えようとしている。また、三角形の内角の和の性質について粘り強く考えたり、そこで見いだした性質を活用して、四角形などのほかの多角形の内角の和の性質についても考えたりしようとしている。 	<p>小1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かたちあそび ・かたちづくり <p>小2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角形と四角形 <p>小3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円と球 ・三角形 <p>小4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・角 ・垂直、平行と四角形 <p>小6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対称な図形 ・拡大図と縮図 <p>中1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平面図形
		<p>②合同な図形の対応する頂点、辺、角について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同な図形の対応する頂点、辺、角について知り、対応する辺の長さ、対応する角の大きさを調べる。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同な図形では、対応する辺の長さ、対応する角の大きさがそれぞれ等しいことを理解し、対応する頂点、辺、角を見つけることができる。 	
		<p>③四角形に対角線をかいたときにできる三角形について合同の観点から調べ、平面図形についての理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひし形、平行四辺形などの四角形に対角線をかいたときにできる三角形について、合同の観点から調べる。 <p>[算数のミカタ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の特徴を調べるとき、これまでの見方に加えて、合同という観点に着目したことを振り返る。 	2	<p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四角形に対角線をかいたときにできる三角形について、図形の合同に着目して考えている。 	

(合同な図形のかき方)	④⑤合同な三角形の作図に必要な要素を考え、作図することができる。 ・合同な三角形を作図するために必要な要素に着目し、作図のしかたを考える。	1	【知・技】 ・対応する辺の長さや角の大きさに着目し、合同な三角形を作図することができる。 【思判表】 ・図形が「決まる」という意味を理解し、合同な図形の能率的なかき方を考え、合同な三角形や四角形をかくために必要な構成要素を見いだしている。 (④～⑦同評価規準)
	⑥合同な三角形が作図できる要素について理解を深める。 ・辺や角の大きさがいずれか3か所示されている三角形を見て、それらの要素で合同な三角形を作図できるか考える。 [三角形が1つに決まらない場合] ・2つの辺の長さ1つの角の大きさという要素だけでは、三角形の形が1つに決まらない場合があることを知る。	1	【知・技】 ・三角形の形や大きさが決まる要素について理解している。
	⑦合同な四角形を作図することができる。 ・合同な四角形の作図のしかたを考える。 [図形が決まるということ] ・図形が「決まる」という意味を知り、長方形やひし形などの図形が決まる要素について考える。	1	【知・技】 ・合同な四角形を作図することができる。
三角形や四角形の角	⑧⑨三角形の3つの角の大きさの和が 180° であることを、帰納的に考えて見いだすことができる。 ・三角形をまっすぐに並べる活動をとおして、角の大きさのきまりについて見通しをもつ。 ・三角形の3つの角の大きさの和を、分度器で測ったり、切り取って並べたりして調べ、 180° であることを説明する。 [算数メモ]* ・図形の「内角」の意味を知る。	1	【知・技】 ・三角形の角の大きさの和が 180° であることを理解している。 【思判表】 ・いろいろな三角形について調べ、三角形の3つの角の大きさの和が 180° になることを帰納的に見いだしている。
	⑩四角形の4つの角の大きさの和が 360° であることを、演繹的に考えて見いだすことができる。 ・四角形の4つの角の大きさの和を、分度器で測るなどして調べるとともに、対角線で三角形に分けることで、どんな四角形でも 360° であることを説明する。		【知・技】 ・四角形の角の大きさの和は、三角形の角の大きさの和をもとにすれば求められることや、それが 360° であることを理解している。 【思判表】 ・四角形の角の大きさの和は、三角形の角の大きさの和をもとにすれば求められることや、それが 360°

				であることを理解している。
		<p>⑪多角形の意味を知り、五角形、六角形、…の内角の和の求め方を説明することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 多角形の内角の和について、多角形を対角線でいくつかの三角形に分けるなどして調べる。 五角形、六角形、…の内角の和を表に整理する。 		<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多角形の意味を知り、多角形の内角の和は三角形に分ければ求められることを理解している。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多角形の内角の和について、四角形の内角の和の求め方をもとに、発展的に考えている。
		<p>⑫三角形や四角形の内角の和の性質をもとに、未知の角の大きさを求めることができる。</p> <p>合同な四角形を敷き詰める活動をととして、図形についての感覚を豊かにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 三角形や四角形で1つの角の大きさが未知の場合に、内角の和の性質をもとに、その角の大きさを求める。 合同な四角形の4つの角をどのように合わせればよいかを考えながら、四角形を平面に敷き詰める。 		<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 内角の和を用いて、三角形や四角形の角の大きさを計算で求めることができる。 合同な四角形によって平面を敷き詰めることができることを理解している。
	学んだことを使おう	<p>⑬身のまわりから三角形を見つけだし、その角の求め方を筋道を立てて考え、説明することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「いろいろな角度を求めよう！」という目的意識から、公園の遊具の形の中に三角形を見つけだし、実測できないところの角度を三角形の内角の和の性質を用いて求める。 	1	<p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身のまわりの具体的な形を三角形として捉え、実測できないところの角度の求め方を筋道を立てて考えている。
	まとめ	<p>⑭学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元のまとめをする。 <p>[しきつめ画家になろう!] (p.279) ★</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択的活動として、美術やデザインの世界では合同を活用した敷き詰め模様があることを知り、そのしくみを考え敷き詰め模様をかく。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「合同と三角形、四角形」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。

6 7 (15)	6 小数のわり算【15】 ※+1	<p>①②整数÷小数の意味と計算のしかたを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「1m のねだんを予想しよう!」の活動をきっかけに、場面図からもとのリボンの長さとして 1m の値段を予想し、もとのリボンの長さが小数になる場合に関心をもつ。 ・1.6m で 96 円のリボン 1m の値段を求める場面で、除数が小数でも除法の式に表せる理由を考える。 ・$96 \div 1.6$ のような、整数÷小数の除法の計算のしかたを考える。 <p>③整数÷純小数の計算のしかたを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・$96 \div 0.8$ のような、整数÷純小数の除法の計算のしかたを考える。 	7	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除数が小数である場合の除法の意味や計算のしかたを、除数が整数である場合の計算の考え方をもとにして、理解している。 <p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除数が 1 より小さい数の場合の除法の意味や計算のしかたを理解している。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小数でわかることの意味や、除数が小数である場合の除法の計算のしかたを、小数の意味や既習の計算などをもとに図や式などを用いて多面的に考えている。 <p>①～⑦同評価規準</p> <p>【態】 単元全体を通じて評価する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小数の除法の計算のしかたについて、既習の計算などをもとに粘り強く考えたり、数学的に表現・処理したことを振り返り多面的に検討してよりよい方法を見いだそうとしたりしている。 	小6 ・文字を使った式
		<p>④小数÷小数の除法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・$4.2 \div 3.5$ のような、小数÷小数の除法の計算のしかたを考える。 ・小数÷小数の筆算のしかたを考える。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小数÷小数、整数÷小数の除法で、わり進む場合の筆算ができる。 	
		<p>⑤被除数が $1/100$ の位までの小数の除法の計算や、商の一の位が 0 になる場合の除法の計算のしかたを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・$3.45 \div 1.5$ のような、被除数が $1/100$ の位までの小数の除法の計算のしかたを考える。 ・$0.63 \div 1.8$ のような、商の一の位が 0 になる除法の計算のしかたを考える。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被除数が $1/100$ の位までの小数の除法や、商の一の位が 0 になる場合の除法の筆算ができる。 	

		<p>⑥除数が1/100の位までの小数の除法の計算のしかたを理解し、小数の除法の筆算のしかたをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ $8.547 \div 2.31$ のような、除数が1/100の位までの小数の除法の計算のしかたを考える。 ・ 小数の除法の筆算のしかたをまとめる。 <p>⑦1/10の位までの小数\div1/100の位までの小数の除法の計算や、整数\div小数の除法の計算のしかたを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ $7.8 \div 3.25$ のような、1/10の位までの小数\div1/100の位までの小数の除法の計算のしかたを考える。 ・ $4 \div 2.5$ のような、整数\div小数の除法の計算のしかたを考える。 	1	<p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 除数が1/100の位までの小数の除法の筆算ができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 除数が小数である場合の除法の筆算形式を統合的に理解している。
	(商の大きさ)	<p>⑧除数と商の大きさの関係を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1.5mで300円のリボンと0.5mで300円のリボンの1mの値段を、もとの代金300円と比べることをとおして、除数が1より小さいとき、商は被除数より大きくなることを知る。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1より小さい小数でわると商は被除数よりも大きくなることを理解している。
	(商の四捨五入)	<p>⑨商を四捨五入して概数で表す場合の除法の計算のしかたを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ $1.2 \div 1.8$ のような計算で、商を四捨五入して概数で求めるしかたを考える。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わり進む除法で、商を四捨五入して概数で表す場合の筆算ができる。
	(あまりのあるわり算)	<p>⑩小数の除法のあまりの大きさについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2.3mのテープを0.5mずつ切る場面で、商を整数まで求め、あまりを出す場合の小数の除法の計算のしかたを考える。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小数の除法で、あまりを求めることができる。
	(倍の計算)	<p>⑪基準量や比較量が小数の場合に、何倍かを求めることができる。(第一用法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9.5cmは7.6cmの何倍かを求めるしかたを考える。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準量や比較量が小数の場合に、何倍かを求めることができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 倍の問題場面の数量関係について、図や式などを用いて考えている。(⑩⑫同評価規準)
		<p>⑫比較量や倍を表す数が小数の場合に、基準量を求めることができる。(第三用法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あるペンキを1.2倍に薄めて5.4Lにするときの、もとのペンキの量の求め方を考える。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 比較量や倍を表す数が小数の場合に、基準量を求めることができる。
		<p>⑬ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を、倍を用いて比べることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1964年から2016年にかけて、オリンピックの選手数とパラリンピックの選手数のどちらの増え方が大きいかを考え、それぞれ約何倍になったかを求めて比べる。 	1	<p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べ方を、倍の関心に着目して考えている。
	まとめ	<p>⑭学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元のまとめをする。 	2	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「小数のわり算」の学習のよさや見方・考

				え方を振り返っている。
	<p>■ ご石の数え方</p> <p>◎ ふくしゅう③</p>	<p>①具体的な事柄を式に表したり、式に表されている関係をよみ取ったりして、式についての理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正方形に並べた基石の数の求め方を、図と式を関連づけて説明する。 ・正方形の問題を発展させて、三角形に並べた基石の数の求め方を、図と式を関連づけて説明する。 <p>・「2つの量の変わり方」「合同と三角形、四角形」「小数のわり算」の復習をする。</p>	1	<p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図や式から思考の筋道を考察し、図をよみ取って式に、式をよみ取って図に表現している。
	<p>7 整数の見方 偶数と奇数【12】</p> <p style="color: red;">※+1</p>	<p>①②偶数と奇数の意味、性質を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「どちらの組になるのかな？」の活動をきっかけに、出席番号を2つの組に分ける観点に関心をもつ。 ・赤組と白組に分けた数の集合の特徴を捉え、それぞれ2でわったときのあまりに着目し、偶数、奇数の意味を知る。 ・数直線で偶数と奇数の並び方を調べ、すべての整数は偶数と奇数のどちらかに分けられることを知る。 <p>[3つの組に分けると…]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席番号順に赤組、白組、青組に分けた数をそれぞれ3でわり、そのあまりに着目して整数を3つの組に分けるしかたを考える。 	2	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・偶数、奇数の意味や性質を知り、整数は偶数と奇数に類別されることを理解している。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整数を2でわったときのあまりに着目し、整数を類別するしかたを考えている。 <p style="color: blue;">(①②同評価基準)</p>
		<p>③偶数と奇数の性質について理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・偶数と奇数の性質に着目して、偶数と奇数の和が奇数になる理由を考える。 <p>[九九の答えはどちらが多い?]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九九表を見て、九九の答えは偶数と奇数のどちらが多いか調べる。 	1	<p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・偶数と奇数の和が奇数になる理由を、偶数、奇数の意味や性質をもとに図や式などを用いて考えている。 <p style="color: red;">【態】単元全体を通じて評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・偶数と奇数、倍数、約数など整数の性質に着目することのよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。
8 (10)	<p>倍数</p>	<p>④倍数、公倍数の意味を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1袋3本入りのソーセージと1袋4本入りのパンをそれぞれ何袋か買う場面をととして、倍数、公倍数の意味を知る。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倍数、公倍数の意味を理解している。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倍数、公倍数について調べ、ある数の倍数の全体を1つの集合として捉え、考察している。

		<p>⑤公倍数を求めることができる。また、最小公倍数の意味を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6と9の公倍数の見つけ方を考える。 ・最小公倍数の意味を知る。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最小公倍数の意味を理解し、公倍数、最小公倍数を求めることができる。 	
		<p>⑥3つの数の公倍数を求めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2と4と6のような3つの数の公倍数を、数直線を用いて見つける。 <p>[3や9の倍数の不思議]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある整数が3や9の倍数であるかを簡単に調べる方法を知る。 		<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つの数の公倍数、最小公倍数を求めることができる。 	
		<p>⑦日常生活の場面から公倍数の関係を見だし、問題の解決に公倍数の性質を活用することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦6cm、横8cmの長方形のタイルを隙間なく並べて、できるだけ小さい正方形を作る場面で、正方形の1辺の長さを公倍数を用いて考える。 <p>[倍数のもよう]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100までの数表を使って、2の倍数などに印をつけ、倍数の並び方を調べる。 		<p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公倍数に着目して、日常生活の問題の解決のしかたを考えている。 	
	約数	<p>⑧約数、公約数の意味を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラム12個とバナナ8本をそれぞれあまりがなく分ける場面をととして、約数、公約数の意味を知る。 	3	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約数、公約数の意味を理解している。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約数、公約数について調べ、ある数の約数の全体を1つの集合とし捉え、考察している。 	
		<p>⑨公約数を求めることができる。また、最大公約数の意味を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12と16の公約数の見つけ方を考える。 ・最大公約数の意味を知る。 <p>[約数のしくみ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12の約数では、1×12、2×6、3×4のように、2つの約数どうしの積が12になっていることを知る。 		<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最大公約数の意味を理解し、公約数、最大公約数を求めることができる。 	
		<p>⑩日常生活の場面から公約数の関係を見だし、問題の解決に公約数の性質を活用することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦12cm、横18cmの長方形の工作用紙をあまりがないように同じ大きさの正方形に切り分ける場面で、正方形の1辺の長さを公約数を用いて考える。 		<p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公約数に着目して、日常生活の問題の解決のしかたを考えている。 	
	まとめ	<p>⑪学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめをする。 <p>[不思議な整数 素数って何?]* (p.280) ★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択的活動として、素数について知り、「エラトステネスのふるい」という方法を用いて素数を見つける。 	2	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「整数の見方」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。 	

9 (15)	8 分数の大きさとたし算、ひき算【10】 ※+1 分数の大きさ	①大きさの等しい分数の表し方を考え、分数の性質を理解する。 ・「どちらが大きいか？」の活動をきっかけに、分数の大きさを比べることに興味をもつ。 ・大きさの等しい分数 (2/3, 4/6, 6/9) の分母どうし、分子どうしの関係を調べて、分数の性質を知る。	1	【知・技】 ・分数の分母、分子に同じ数を乗除してできる分数は、もとの分数と同じ大きさを表すことを理解している。 【思判表】 ・分数の意味や性質をもとに、図や式などを用いて、分数の相等及び大小関係について考察している。 ①～④同評価規準	小2 ・1を分けて 小3 ・分数 小4 ・分数の大きさとたし算、ひき算
	(約分)	②約分の意味を理解し、約分することができる。 ・12/18と大きさが等しく、分母が18より小さい分数を表すことをとおして、約分の意味を知る。	1	・約分の意味を理解し、約分することができる。	
	(通分)	③異分母の分数の大小の比べ方を考え、通分の意味を理解する。 ・3/5と2/3のような異分母の分数の大小を比べることをとおして、通分の意味を知る。 ④分母の公倍数に着目して、通分することができる。 ・5/6と7/8のような異分母の分数の通分のしかたを考え、もとの分母の公倍数を共通な分母にすることをまとめる。	1	・分数の大小を比べることをとおして、通分の意味を理解している。 ・分母の公倍数に着目して、通分することができる。	
分数のたし算とひき算	⑤異分母の分数の加法の計算のしかたを理解する。 ・ $1/2+1/3$ のような、異分母の分数の加法の計算のしかたを考える。	1	【知・技】 ・異分母の分数の加法の計算のしかたを理解し、計算ができる。 【思判表】 ・異分母の分数の加法、減法の計算のしかたを、既習の計算や分数の意味、性質をもとに図や式などを用いて考えている。 ⑤～⑧まで同評価		
	⑥異分母の分数の加法の計算で約分をする場合や、異分母の帯分数の加法の計算ができる。 ・ $3/4+1/6$ のような、答えが約分できる場合の加法の計算のしかたを考える。 ・ $1\frac{5}{6}+2\frac{2}{3}$ のような、帯分数の加法の計算のしかたを考える。	1	【知・技】 ・異分母の分数の加法の計算で約分をする場合や、異分母の帯分数の加法の計算ができる。		
	⑦異分母の分数の減法の計算のしかたを理解する。 ・ $2/3-1/2$ のような、異分母の分数の減法の計算のしかたを考える。	1	【知・技】 ・異分母の分数の減法の計算のしかたを理解し、計算ができる。		
	⑧異分母の帯分数の減法の計算や、3口の異分母の分数の加減混合の計算ができる。 ・ $3\frac{1}{4}-1\frac{1}{2}$ のような、帯分数の減法の計算のしかたを考える。	1	【知・技】 ・異分母の帯分数の減法や、3口の異分母の分数の加減混合の		

		<p>・$2/3+1/2-3/4$ のような、3口の分数の加減混合の計算のしかたを考える。</p>		<p>計算ができる。</p>	
	まとめ	<p>⑨学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <p>・単元のまとめをする。</p>	1	<p>【知・技】</p> <p>・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。</p> <p>【思判表】</p> <p>・「分数の大きさとたし算、ひき算」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。</p>	
10 (20)	9 平均【6】	<p>①②平均の意味と求め方を理解する。</p> <p>・「1回につかめた数はいくつ？」の活動をきっかけに、ばらつきのあるブロックの数を等しくそろえることに関心をもち、「ならず」という意味を知る。</p> <p>・5個のオレンジから絞ったジュースの量をならずことをとおして、平均の意味と求め方を知る。</p> <p>・オレンジ1個から絞れるジュースの量の平均と、絞る個数から、総量を求める。</p>	1	<p>【知・技】</p> <p>・いくつかの量をならした値としての平均の意味と求め方を理解し、平均を求めたり、平均から総量を求めたりすることができる。</p> <p>【思判表】</p> <p>・身のまわりにある事柄について、概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法を考えている。</p> <p>①～③同評価規準</p> <p>【態】単元全体を通じて評価する。</p> <p>・平均の意味や使い方について多面的に捉え検討したり、平均を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとしていたりしている。</p>	小6 ・資料の調べ方
		<p>③平均した値と実際の測定値の違いに着目し、平均の意味と求め方について理解を深める。</p> <p>・5個のオレンジから絞ったジュースの量の平均と、追加でもう1個絞ったジュースの量をもとに、オレンジ6個から絞れるジュースの量の平均の求め方を考える。</p> <p>[とびぬけた数があるときは]</p> <p>・目的によっては、飛びぬけて大きかったり小さかったりする値は含めずに平均を求める場合があることを知る。</p>	1	<p>【知・技】</p> <p>・平均した値と実際の測定値の違いを理解し、正しく平均を求めることができる。</p>	

		<p>④調べた結果の中に0が含まれる場合の平均の求め方を考え、平均の意味と求め方について理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5試合の得点の中に0が含まれる場合の平均の求め方を考える。 ・サッカーの得点のように小数では表せない数量も、平均では小数で表す場合があることを知る。 <p>[平均を求めるときのくふう]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな数の平均を求めるとき、きりのよい数を基準として、それより大きい部分に着目して計算すると効率よく求められることを知る。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分離量であっても、平均の値としては小数で表す場合があることを理解している。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数値に0がある場合に、0を含めて平均を求めるとの意味について考えている。 	
	学んだことを使おう	<p>⑤日常生活の場面と関連づけて、平均の考えや求め方を活用することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「校舎の長さをはかろう！」という目的意識から、校舎の端から端までの長さを調べる場面で、歩幅の平均を用いておよその距離を測るしかたを考える。 	1	<p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・およその距離を測る場面で、歩幅の平均に着目し、より信頼できる値を求めるために、得られた測定値を平均する方法を考えている。 	
	まとめ	<p>⑥学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめをする。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平均」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。 	
	■ 奇数と偶数に分けて	<p>①煩雑な計算を必要とする場面で、式や図に表してきまりを見つけて解決することとおして、論理的な思考力を伸ばす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1から100までの100個の整数を奇数と偶数に分け、それぞれを合計した数の差の求め方を考える。 	1	<p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・偶数と奇数の性質に着目し、きまりを見つけて効率よく問題を解決するしかたを考え、式や図などを用いて表現したりよみ取ったりしている。 	
	◎ ふくしゅう④	<ul style="list-style-type: none"> ・「小数のかけ算」「小数のわり算」「整数の見方」「分数の大きさとたし算、ひき算」の復習をする。 	1		
	10 単位量あたりの大きさ【13】 ※+1	<p>①②単位量あたりの大きさの意味と求め方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「どちらがこんでいるかな？」の活動をきっかけに、プールの場面絵を見て、混みぐあいに関係する数量に関心をもつ。 ・部屋の混みぐあいについて、1㎡あたりの人数や1人あたりの面積などを求めて比べることをとおして、単位量あたりの大きさの意味を知る。 <p>[友だちのノートを見てもみよう]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書のノート例や友だちのノートを見て、ノートの書き方の工夫について話し合う。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・混みぐあいの比べ方や表し方を理解している。また、単位量あたりの大きさの意味を理解している。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面積と人数の関係によって混みぐあいを捉える場合のように、異種の2つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じた 	

				<p>大きさの比べ方や表し方を考えている。</p> <p>①～⑤同評価規準</p> <p>【態】単元全体を通じて評価する。</p> <p>・混みぐあいや速さなどの比べ方や表し方について、数学的に表現・処理したことを振り返り多面的に検討してよりよい方法を見いだそうとしたり、生活や学習に活用しようとしていたりしている。</p>	
		<p>③人口密度の意味と求め方を理解する。★</p> <p>・2つの区の混みぐあいについて、1k㎡あたりの人数を求めて比べることをとおして、人口密度の意味を知る。</p>	1	<p>【知・技】</p> <p>・人口密度の意味を理解し、比べたり表したりすることができる。</p>	
		<p>④混みぐあい以外の数量の関係についても、単位量あたりの大きさ求めて比べることができる。</p> <p>・2つの畑の面積とじゃがいもの収穫量から、どちらの畑がよくとれたかを単位量あたりの大きさを求めて比べる。</p> <p>[算数のミカタ]</p> <p>・2つの量が関係するものを比べるとき、どちらか一方をそろえて比べるという見方をしたことを振り返る。</p>	1	<p>【知・技】</p> <p>・単位量あたりの大きさの考えを用いて、異種の2つの量の割合として捉えられる数量を比べたり表したりすることができる。</p>	
		<p>⑤単位量あたりの大きさを求めて、その値を用いて解決する2段階の問題に取り組み、理解を深める。</p> <p>・5mの重さが200gの針金について、1mあたりの重さを求める。また、その値をもとに2.3mの重さを求める。</p> <p>[「単位量あたり」を見つけよう]</p> <p>・身のまわりには、「単位量あたり」の考えを用いて、100gあたりや200mLあたりなどの値で表示されたものがあることを知る。</p>		<p>【知・技】</p> <p>・単位量あたりの大きさの考えを用いて、問題を解決することができる。</p>	
	速さ	<p>⑥速さの意味と求め方を理解する。</p> <p>・3台の自転車の速さ比べの場面とおして、速さは、1分間あたりに進む道のりや1km進むのにかかる時間で比べられることを知る。</p>	1	<p>【知・技】</p> <p>・速さの意味と比べ方を理解している。</p> <p>【思判表】</p> <p>・時間と道のりの2つの量の関係に着目し、単位量あたりの考えをもとに速さの比べ方や表し方を考えている。</p> <p>⑥～⑧同評価規準</p>	

		<p>⑦速さの表し方を理解し、求めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新幹線の1時間あたりに進む道のりを求めることをとおして、速さは単位時間あたりに進む道のりで表すことを知り、速さ＝道のり÷時間の関係を知る。 ・速さは単位時間によって、時速、分速、秒速の表し方があることを知る。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・速さ＝道のり÷時間の関係を理解し、道のりと時間から速さを求めることができる。また、時速、分速、秒速の意味を理解している。 	
		<p>⑧時間や道のりの単位が異なる場合に、単位をそろえて速さを比べることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4分間で720m進むロープウェイと50秒間で350mの高さまで上がるエレベーターの速さを、単位をそろえて比べる。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時速、分速、秒速の単位の関係を理解し、異なる時間の単位で表されている場合に、単位をそろえて速さを比べることができる。 	
		<p>⑨速さと時間から道のりを求めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路を走る自動車の速さと時間から道のりを求めるしかたを考え、道のり＝速さ×時間の関係を知る。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道のり＝速さ×時間の関係を理解し、速さと時間から道のりを求めることができる。 	
		<p>⑩速さと道のりから時間を求めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路を走る自動車の速さと道のりから時間を求めるしかたを考え、時間＝道のり÷速さの関係を知る。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間＝道のり÷速さの関係を理解し、速さと道のりから時間を求めることができる。 	
	学んだことを使おう	<p>⑪待ち合わせにまにあうかどうかを考える場面で、与えられた条件から必要な速さ、道のり、時間を求めて判断することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「駅で待ち合わせをしよう！」という目的意識から、歩く速さをもとに道のりを調べたり、待ち合わせの時刻にまにあうかを考えたりする。 	1	<p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・待ち合わせの時刻にまにあうかを判断する問題で、道のりや時間の関係を図に表すなどして整理して考え、解決している。 	
	まとめ	<p>⑫学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめをする。 <p>[かみなりの音はどうしておくれて聞こえるの?](p.281)★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択的活動として、雷の音が遅れて聞こえる理由を考えたり、雷までの距離を求めたりする。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「単位量あたりの大きさ」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。 	
1 1 (20)	1 1 わり算と分数 (商を表す分数) 【6】	<p>①②整数の除法の商は分数で表すことができることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ぴったり分けられるかな?」の活動をきっかけに、除法でわりきれないときの商を正確に表すことに興味をもつ。 ・2Lのジュースを3等分した1つ分の量の表し方を考えることをとおして、整数の除法の商を分数で表すしかたをまとめる。 <p>[分数の性質とわり算のきまり]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分数の性質とわり算のきまりを比べて、共通点を考える。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整数の除法の結果を分数を用いて1つの数として表すことを理解し、$a \div b$をa/bとみたり、a/bを$a \div b$とみたりすることができる。 	<p>小4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小数のしくみとたし算、ひき算 ・小数のわり算 <p>小6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分数のかけ算

				<p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整数の除法の結果は分数を用いて表せることを、分数の意味や表現をもとに図を用いるなどして考えている。 <p>【態】単元全体を通じて評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分数の表現について多面的に捉えようとするとともに、その表現を振り返り、分数の意味についてまとめようとしている。
(分数と小数, 整数)	<p>③分数を小数で表すしかたを理解し、分数と小数の大小を比べることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3mのテープを5等分した1本分の長さを分数と小数で求め、$\frac{3}{5}=0.6$の関係を知る。 ・$\frac{5}{4}$と1.2の大小を比べることをとおして、分数を小数で表すしかたをまとめる。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分数を小数で表したり、分数と小数の大小を比べたりすることができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分数の意味や表現をもとに、分数を小数で表したり、小数や整数を分数で表したりするしかたを考えている。 <p>③④同評価規準</p>	
	<p>④小数や整数を分数で表すしかたを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0.3や1.47を分数で表すことをとおして、小数を分数で表すしかたをまとめる。 ・7や15を分数で表すことをとおして、整数を分数で表すしかたをまとめる。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小数を分数で表したり、整数を分数で表したりすることができる。 	
(分数倍)	<p>⑤何倍かを表す数が分数になる場合があることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4mや2mは3mの何倍かを求めることをとおして、$\frac{4}{3}$倍、$\frac{2}{3}$倍のように何倍かを表す数が分数になる場合があることを知る。 <p>[分数の意味]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分割分数、量分数、商分数、分数倍など、これまでに学習した分数の意味について整理する。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・$\frac{4}{3}$倍や$\frac{2}{3}$倍のように何倍かを表す数が分数になる場合があることを理解している。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分数の意味や表現を振り返り、まとめている。 	
まとめ	<p>⑥学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめをする。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わり算と分数」の学習のよさや見方・考え方を振り返って 	

				る。	
	■ 九九の表を調べよう	①九九表のきまりについて平均の学習などを活用して説明する活動をとおりて、論理的な思考力を伸ばす。★ ・九九表の答えの総和の求め方を考えたり、たすきがけで斜めにかけた答えが同じになる理由を考えたりする。	1	【思判表】 ・九九表を調べてきまりを見つけ、そのきまりがほかの場合でも成り立つかを考えている。	
	◎ ふくしゅう⑤	・「平均」「単位量あたりの大きさ」の復習をする。 ・単元12「割合」に関わる既習事項を確認する。	1		
11 ～ 12	12 割合【14】 (割合の表し方) ※+1	①②小数で表される場合の割合の意味と表し方、割合を用いた比べ方を理解する。 ・「シュートがよく入ったのはどちらかな？」の活動をきっかけに、どのような場合によく入ったといえるのかを考え、差ではなく割合に着目するとよい場合があることに気づく。 ・誰がよく入ったといえるかを考えることをとおして、小数で表される場合の割合の意味と求め方を知る。 ・投げた回数(基準量)と割合から、入った回数(比較量)を求める。	1	【知・技】 ・割合の意味と表し方、 $\text{割合} = \text{比較量} \div \text{基準量}$ の関係を理解している。 【思判表】 ・投げた回数異なる場合のシュートのうまさを捉える場合のように、ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係との比べ方を、比例関係をもとに基準量をそろえるなどして考えている。 ①～③同評価規準 【態】単元全体を通じて評価する。 ・割合を用いて比べるような具体的な場面について、その意味や比べ方を粘り強く考えたり、生活や学習に活用しようとしていたりしている。	小6 ・資料の調べ方

		<p>③資料の全体と部分の大きさの関係や、部分と部分の大きさの関係を、割合を用いて表すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年生50人のうち、男子が20人、女子が30人の場面で、5年生全体を基準量とするときの男子の割合、女子の割合をそれぞれ求める。 ・女子を基準量とするときの男子の割合や、男子を基準量とするときの女子の割合を求める。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基準量と比較量の関係を捉え、割合を求めることができる。 	
	(百分率)	<p>④百分率の意味と表し方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年生112人のうち84人が「算数が好き」と答えたアンケートの場面とおして、百分率の意味を知り、「パーセント(%)」を用いて割合を百分率で表す。 <p>⑤百分率が100%を超える場合を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電車の乗車率の場面で、百分率が100%よりも大きくなる場合があることを知る。 <p>⑥歩合の表し方「割」の意味を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試合数に対する勝ち数の割合を表す場面で、割合を表す0.1を、歩合の表し方で「1割」と表す場合があることを知る。 <p>[歩合の表し方]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・割合の表し方として歩合(「割」「分」「厘」)があることを知る。 	4	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・百分率と「パーセント(%)」の意味を理解し、百分率を用いて表すことができる。 <p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・百分率が100%を超える場合があることを理解し、そのような場合も含めて百分率を用いて表すことができる。 <p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩合の意味を知り、「割」を用いた表し方を理解している。 	
	学んだことを使おう	<p>⑫日常生活の場面の問題解決に割合を活用し、判断の理由を言葉や式などを用いて説明することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「お得な買い方を考えよう！」という目的意識から、購入する弁当の種類や個数によって、2割引きの店と350円引きの店ではどちらが安くなるかを考え説明する。 	1	<p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の場面の問題解決に割合を活用し、判断の理由を言葉や式などを用いて考え表現している。 	
	まとめ	<p>⑬学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめをする。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「割合」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。 	
12 (15)	13 割合とグラフ 【8】 ※+1 (帯グラフと円グラフのかき方)	<p>①②帯グラフ、円グラフのよみ方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「グラフで『いちばん』を伝えよう!」の活動をきっかけに、ものの収穫量が多いことをグラフで伝えることに興味をもつ。 ・ものの収穫量を表す棒グラフをよみ取るとともに、割合についてもグラフで表すことに興味をもち、帯グラフと円グラフのよみ方を知る。 	2	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・割合を表すグラフとして、円グラフや帯グラフの特徴を理解し、よみ取ることができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、目的に合ったグラフの表し方について考えている。 	<p>小1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かずをせいりして <p>小2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表とグラフ <p>小3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表と棒グラフ <p>小4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・折れ線グラフ

				①～④同評面規準	小6 ・資料の調べ方
		③④帯グラフ、円グラフのかき方を理解する。★ ・もの収穫量の割合を百分率で表し、それを帯グラフ、円グラフに表す。	2	【知・技】 ・帯グラフや円グラフのかき方を理解し、表すことができる。	
		⑤複数の帯グラフを比べて、データを正しくよみ取ることができる。 ・ブルーベリーの収穫量の割合の年次変化を表す複数の帯グラフを見て、割合をよみ取ったり、割合と合計量から県別の収穫量を求めたりする。 ・異なる年の収穫量を比較することをとおして、合計量が異なっている場合は、見た目の割合の大きさだけでは比較できないことを説明する。 [いろいろなグラフに表してみよう] ・コンピュータを使うと、1つのデータから円グラフや棒グラフ、折れ線グラフなどのいろいろなグラフを表せることを知る。	1	【知・技】 ・複数の帯グラフを比べて、データをよみ取ることができる。 【思判表】 ・データからよみ取った結論について多面的に考察している。	
	学んだことを使おう	⑥統計的な問題解決の方法を理解する。★ 「疑問に思ったことを調べてみよう！」という目的意識から、オリンピックで日本が獲得したメダルの数を調べてポスターを作る場合を例にして、統計的な問題解決の方法を知る。	1	【知・技】 ・「問題-計画-データ-分析-結論」といった統計的な問題解決の方法を理解している。	
	まとめ ※+1	⑦学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 ・単元のまとめをする。 [算数でスポーツを楽しもう！] (p. 282) ★ ・選択的活動として、スポーツの世界でも表やグラフが活用されていることを知る。	2	【知・技】 ・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 【思判表】 ・「割合とグラフ」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。	
	■ 四角形の関係を調べよう*	①基本的な四角形の性質の相互関係を調べ、平面図形についての理解を深める。 ・基本的な四角形（台形、平行四辺形、ひし形、長方形、正方形）について、辺の位置関係や相等関係、直角の有無という条件にあてはまるかどうかを表に整理する。 ・基本的な四角形の相互関係をベン図に表せることを知る。	1	【知・技】 ・基本的な四角形について、共通する性質を理解している。 【思判表】 ・四角形の共通する性質に着目して、既習の図形を捉え直している。	
	◎ ふくしゅう⑥	・「わり算と分数」「割合」の復習をする。	1		

1 (10)	14 四角形や三角形の面積【17】 ※+1 (平行四辺形の面積)	①平行四辺形の面積の求め方を理解する。★ ・「面積は変わるのかな？」の活動をきっかけに、周りの長さが等しい長方形と平行四辺形を比較し、平行四辺形の面積を求めることに興味をもつ。 ・平行四辺形の面積の求め方を、長方形の面積などをもとにして考える。	1	【知・技】 ・必要な部分の長さを用いることで、平行四辺形の面積は計算によって求められることを理解している。 【思判表】 ・三角形の面積の求め方を、長方形や平行四辺形の面積の求め方をもとに考えている。また、見いだした求積方法や式表現を振り返り、公式を導きだしている。 ①②同評価規準 【態】単元全体を通じて評価する。 ・平行四辺形などの面積の求め方について粘り強く考えたり、その過程を振り返り見方や考え方のよさに気づき、ほかの図形の面積の求め方を考える場合にも活用しようとしていたりしている。	小4 ・面積 小5 ・正多角形と円 小6 ・円の面積
		②平行四辺形の面積の公式を理解する。 ・平行四辺形の構成要素に着目し、面積を計算で求めるしかたを考える。 ・底辺と高さについて知り、平行四辺形の面積の求め方を公式にまとめる。	1	【知・技】 ・底辺と高さについて知り、平行四辺形の面積の公式を理解し、用いることができる。	
		③高さが図形の外にある場合の平行四辺形の面積の求め方を理解する。 ・高さが図形の外にある場合の平行四辺形の面積の求め方を考えることをとおして、平行四辺形の高さは図形の外側にとることもできることを知る。	1	【知・技】 ・高さが図形の外にある平行四辺形でも、公式を用いて面積が求められることを理解している。	
		④平行四辺形の底辺と高さの関係を理解する。 ・形は異なるが底辺と高さが等しい平行四辺形の面積を求めることをとおして、底辺と高さが等しければ面積も等しくなることを知る。 [算数のミカタ] ・面積の求め方を考えるとき、面積の求め方がわかる形に変えるという見方をしたことを振り返る。	1	【知・技】 ・平行四辺形では、底辺と高さが等しければ面積も等しくなることを理解している。	
	(三角形の面積)	⑤三角形の面積の求め方を理解する。★ ・三角形の面積の求め方を、長方形や平行四辺形の面積などをもとにして考える。	1	【知・技】 ・必要な部分の長さを用いることで、三角形の面積は計算によって求められることを理解している。	

				<p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角形の面積の求め方を、長方形や平行四辺形の面積の求め方をもとに考えている。また、見いだした求積方法や式表現を振り返り、公式を導きだしている。 <p>⑤⑥同評価規準</p>
		<p>⑥三角形の面積の公式を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角形の構成要素に着目し、面積を計算で求めるしかたを考える。 ・底辺と高さについて知り、三角形の面積の求め方を公式にまとめる。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・底辺と高さについて知り、三角形の面積の公式を理解し、用いることができる。
		<p>⑦高さが図形の外にある場合の三角形の面積の求め方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高さが図形の外にある場合の三角形の面積の求め方を考えることとして、三角形の高さは図形の外側にとることでもできることを知る。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高さが図形の外にある三角形でも、公式を用いて面積が求められることを理解している。
		<p>⑧三角形の底辺と高さの関係を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形は異なるが底辺と高さが等しい三角形の面積を求めることとして、底辺と高さが等しければ面積も等しくなることを知る。 <p>[三角形に変身]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・底辺の長さが高さが等しい三角形は面積も等しいことを用いて、四角形を、面積を変えずに三角形に変形するしかたを考える。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角形では、底辺と高さが等しければ面積も等しくなることを理解している。
	(高さや面積の関係)	<p>⑨底辺が一定の三角形について、高さや面積の関係を○、△を用いた式に表して調べ、面積は高さに比例することを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・底辺が4cmの三角形の高さ○cmと面積△cm²の関係を式に表し、○と△の関係を表に表して調べる。 ・底辺が一定の三角形の面積は高さに比例することを知る。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・底辺が一定の三角形や平行四辺形では、面積は高さに比例することを理解している。
	(いろいろな図形の面積)	<p>⑩台形の面積の求め方を理解する。★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台形、ひし形、一般四角形の面積の求め方について見直しをもつ。 ・既習の面積の求め方を活用して、台形の面積の求め方を考える。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な部分の長さをを用いることで、台形の面積は計算によって求められることを理解している。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の面積の求め方を、既習の求積可能な図形の面積の求め方をもとに考えている。また、見いだした求積方法や式表現を振り返り、公式を導きだしている。 <p>⑩～⑬同評価規準</p>

		<p>⑪台形の面積の公式を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台形の構成要素として上底、下底、高さについて知り、台形の面積の求め方を公式にまとめる。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上底、下底、高さについて知り、台形の面積の公式を理解し、用いることができる。 	
		<p>⑫ひし形の面積の求め方、面積の公式を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の面積の求め方を活用して、ひし形の面積の求め方を考える。 ・ひし形の対角線に着目して、ひし形の面積の求め方を公式にまとめる。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対角線を用いることで、ひし形の面積は計算によって求められること、及びひし形の面積の公式を理解し、用いることができる。 	
		<p>⑬一般四角形の面積の求め方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の面積の求め方を活用して、一般四角形の面積の求め方を考える。 <p>[三斜法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地の面積を求める際に、多角形を三角形に分割して求める「三斜法」という方法があることを知る。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般四角形の面積を求めることができる。 	
	(およその面積)	<p>⑭方眼を使った不定形の面積の求め方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葉のような形のおよその面積を、方眼を使って求める。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・方眼を用いて、およその面積を求めることができる。 	
	学んだことを使おう	<p>⑮長方形について見いだした性質がほかの図形でも成り立つかを考え説明し、面積の公式についての理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 p. 211 の□11 の長方形は、4つの三角形に面積が等分されていることを確認する。 ・「形が変わるとどうなる？」という目的意識から、平行四辺形を同じようにして4つの三角形に分け、それらの面積が等分されていることを説明する。 	1	<p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の面積の求め方を、既習の求積可能な図形の面積の求め方をもとに考えている。また、見いだした求積方法や式表現を振り返り、公式を導きだしている。 	
	まとめ ※+1	<p>⑯学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめをする。 <p>[面積の公式はつながっている?] (p. 283) ★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択的活動として、既習の面積の公式を振り返り、台形の上底が0 cmの場合を三角形とみたり、上底=下底の場合を平行四辺形とみたりすることで、それらの面積の公式のつながりを考える。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「四角形や三角形の面積」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。 	

2 (15)	15 正多角形と円 【11】 正多角形	<p>①正多角形の意味を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「どんな形ができるかな？」の活動をきっかけに、円形の紙で作った整った形（正多角形）の特徴に関心をもつ。 ・多角形（正六角形、正八角形、正方形）の特徴を調べ、正多角形の意味を知る。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正多角形の意味や性質を理解している。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円形の紙で作った正多角形の特徴を調べ、正多角形の性質や特徴を見いだしている。 <p>【態】単元全体を通じて評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の図形の見方などをもとに、正多角形の性質や構成のしかたを主体的に考えようとしている。また、円周率について帰納的に考えて見いだしたりしたことを振り返り、数学のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。 	<p>小1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くらべかた <p>小4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面積 ・変わり方 <p>小6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円の面積
		<p>②③円と組み合わせて正多角形を作図するしかたを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円の中心の周りの角を等分する方法で、正八角形をかく。 ・円の中心の周りの角を等分する方法で、正六角形をかく。 <p>[おうぎ形]*</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おうぎ形、中心角について知る。 	2	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正多角形を作図することができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円の中心の周りの角に着目して、正八角形や正六角形などの作図のしかたを考えている。 	
		<p>④円の半径の長さを用いて正六角形を作図し、正多角形と円の関係について理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円の周りを半径の長さで区切る方法で正六角形をかき、その方法でかける理由を考える。 <p>[時計でできる正多角形]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時計の文字盤の数字を1時間ごと、2時間ごと、3時間ごと、…に結ぶと正多角形がかけることを知る。 	1	<p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円の周りを半径の長さで区切ることで正六角形がかける理由を考えている。 	

		<p>⑤[プログラミングにちょう戦しよう]★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータを活用して、正多角形の作図手順を正しくプログラミングすることで、指示通りに作図できることを体験する。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラミングソフトを用いて、正多角形を作図することができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形を構成する要素に着目し、正多角形の定義に基づいて作図する方法について、プログラミングをとおして筋道を立てて考えている。 	
円周の長さ		<p>⑥直径の長さと円周の長さの関係を調べ、円周率の意味を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きさの異なるタイヤを1回転させて進む長さを予想し、直径の長さと円周の長さの関係について見通しをもつ。 ・いろいろな円の直径の長さと円周の長さを調べることをおし、$\text{円周} \div \text{直径}$は一定であることを気づき、円周率の意味、$\text{円周率} = \text{円周} \div \text{直径}$の関係をj知る。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円周率の意味や、$\text{円周率} = \text{円周} \div \text{直径}$の関係を、円周率は3.14を用いることを理解している。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円の直径と円周を測定する活動をおし、どんな大きさの円でも円周と直径の割合は一定であることを見いだしている。 	
		<p>⑦直径の長さから円周の長さを求めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直径が100mの円の円周の長さの求め方を考え、$\text{円周} = \text{直径} \times \text{円周率}$の関係をj知る。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円周率を用いて、円の直径から円周を求めることができる。 	
		<p>⑧直径と円周の関係をO、△を用いた式に表して調べ、円周の長さは直径の長さに比例することを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直径の長さOcmと円周の長さ△cmの関係を式に表し、Oと△の関係を表に表して調べる。 ・円周の長さは直径の長さに比例することをj知る。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円周の長さは直径の長さに比例することを理解している。 	
		<p>⑨円周の長さから直径の長さを求めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円周が145cmの円の直径の長さの求め方を、$\text{円周} = \text{直径} \times \text{円周率}$の関係をもとに考える。 <p>[周りの長さははかって]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木の幹の直径のように測定しにくいところの長さを、直径と円周の関係をj用いて概測するしかたをj考える。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円周率を用いて、円周から直径を求めることができる 	
学んだことを使おう		<p>⑩日常生活の場面の問題解決に円周率についての学習を活用するとともに、式に着目して筋道を立てて考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「スタートの位置を決めよう！」という目的意識から、グラウンドに100m走のコースをかくとき、スタートの位置を何mずつずらせばよいかをj考える。 	1	<p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100m走のコースのカーブの部分を円の一部とみて、円周の長さを求める式を活用して、問題を解決するしかたをj考えている。 	

	まとめ	<p>①学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめをする。 <p>[円周率はどこまで続くの?] (p.284) ★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択的活動として、円周率がどのようにして求められてきたかを知り、実際に、円に外接する正方形と内接する正六角形の周りの長さを調べてみる。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「正多角形と円」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。 	
	◎ ふくしゅう⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・「割合とグラフ」「四角形や三角形の面積」「正多角形と円」の復習をする。 	1		
2～3 (10)	16 角柱と円柱【6】	<p>①角柱、円柱の意味を理解する。★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「箱の形をなかま分けしよう！」の活動をきっかけに、直方体、立方体とそれ以外の立体に分類し、その特徴について関心をもつ。 ・直方体、立方体ではない箱の特徴を調べることとおして、角柱、円柱について知る。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・角柱、円柱の意味を理解している。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立体図形を分類し、底面や側面の形や位置関係に着目して特徴を捉え、角柱や円柱の性質を見いだしている。また、直方体や立方体も角柱として統合的に捉えている。 <p>【態】単元全体を通じて評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立体図形を分類し、底面や側面の形や位置関係に着目して特徴を捉え、角柱や円柱の性質を見いだしている。また、直方体や立方体も角柱として統合的に捉えている。 	<p>小1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かたちあそび <p>小2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はこの形 <p>小3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円と球 <p>小4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立体
		<p>②角柱、円柱の底面、側面の特徴を理解する。★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・角柱、円柱の底面、側面を知り、その特徴を調べる。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・角柱や円柱の底面、側面について知り、角柱や円柱の性質を理解している。また、三角柱、四角柱、五角柱、…の意味を理解している。 	
		<p>③角柱の構成要素（頂点、辺、面）について理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角柱、四角柱、五角柱、六角柱の頂点、辺、面の数を表に整理し、それらのきまりを調べる。 	1	<p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角柱、四角柱、五角柱、六角柱の構成要素（頂点、辺、面）の数を表に整理し、それらに共通するきまりを見いだしている。 	

	(見取図と展開図)	<p>④角柱の見取図, 展開図をかくことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・角柱の見取図, 展開図をかく。 <p>⑤円柱の展開図をかくことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円柱を展開図に表すときの側面の形や大きさを考え, 円柱の展開図をかく。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・角柱の見取図や展開図を作図したり, 展開図をもとに構成したりすることができる。 ・円柱の展開図を作図することができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・角柱の辺や面のつながりや位置関係, 円柱の側面の形や大きさなど, 図形を構成する要素に着目している。
	まとめ	<p>⑥学習内容の理解を確認し, 確実に身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめをする。 	1	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を理解し, 基本的な問題を解決することができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「角柱と円柱」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。
3	◎ 5年のまとめ	<p>①②第5学年の学習内容の問題を解決することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数と計算, 図形, 変化と関係, データの活用についての問題に取り組む。 	2	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5学年の学習内容について, 知識及び技能を身につけている。 <p>【態】単元全体を通じて評価する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5学年の学習内容について自らの学習状況を振り返り, それらが確実に身につくように粘り強く取り組もうとしている。